

公共交通網の再編案を検討しています

住民アンケートおよび公共交通ワークショップの結果について

運転士不足等による公共交通環境の変化を受けて、コミュニティバスのダイヤ・ルート再編や、デマンド交通の導入を含めた公共交通網再編案を検討しています。

そこで、今後の検討材料とするため、公共交通に関する住民アンケート調査と公共交通ワークショップを実施しました。

▶アンケートについて

今年2～3月に15歳以上の市民2000人に調査票を送付し、1290人から回答をいただきました。

アンケート結果からは、通学・通勤時間帯における石清水八幡宮駅への路線確保の重要性や、イズミヤショッピングセンター八幡店への移動手段の確保を求める声等、潜在的なニーズを把握することができました。

▶公共交通ワークショップについて

5月10日にワークショップを開催し、24人に参加いただきました。

当日は、地域毎に4つのグループに分かれて、路線バスやコミュニティバスのサービスをテーマに議論しました。

主なご意見として、石清水八幡宮駅へのコミュニティバス乗り入れや乗継環境の向上、デマンド交通の導入等に関するご意見をいただきました。

今後は、これらのご意見を参考に、公共交通網再編案について検討を進



公共交通ワークショップの様子

めます。詳細は、市ホームページで公表していますので、ご覧ください。



市ホームページ

近畿運輸局と地域連携サポートプラン協定を締結

八幡市と国土交通省近畿運輸局は、地域公共交通が抱える課題解決等を目的に、地域連携サポートプラン協定を5月30日(金)に締結しました。

今後は本協定に基づき、近畿運輸局のサポートを得ながら、公共交通に関する現状把握・意見交換等を行います。そして、来年度には、近畿

運輸局から課題解決の糸口となる「提案書」が交付される予定です。

※その他の詳細は、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ



協定を締結した(左から)川口宏幸京都運輸支局長と川田市長



■八幡市地域公共交通会議の傍聴希望者募集

公共交通事業者や利用者代表、行政機関等が、地域住民の生活に必要なバスやタクシー等の公共交通における課題等について協議します。

傍聴を希望の人は、当日の開始30分前～10分前に会場入口へお越しください。

▶日時 7月15日(火) 午前10時～正午

▶場所 市役所5階会議室5-1

▶定員 10人(先着順)

図管理・交通課 (☎983-5144)

8月に友好都市協定を締結(予定)

縁

地名が漢字で「八」に「幡」と書いて「やわた」と、同じ読み方をする愛媛県八幡浜市を知っていますか。

八幡浜市は、世界で初めて飛行原理を発見した二宮忠八翁の生誕の地であり、同氏が飛行器の研究に没頭し晩年を過ごしたのが八幡市でした。

郷土の偉人と地名の縁が深い両市は、平成25年度から隔年でお互いの市を訪問する中学生同士の交流事業を実施しています。この交流を市民間にまで発展させるべく、両市

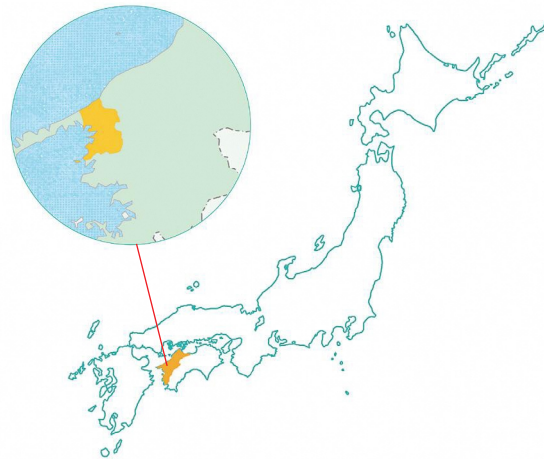
地名の読み・郷土の偉人が同じ

愛媛県 八幡浜市



は取り組みを進めています。今後も両市において様々な交流が生まれ、双方の文化、観光、商工業等のさらなる発展につなげていくため、8月

に八幡浜市で実施する中学生交流に合わせて、友好都市協定を締結する予定です。



■八幡浜市の概要(令和7年5月末現在)

▶人口: 2万9499人 ▶世帯: 1万5176世帯

▶総面積: 132.65km²

▶特産品: みかん、八幡浜ちゃんぽん 等

▶イベント: ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル in Japan

全国有数 みかんの産地

八幡浜市は愛媛県の佐田岬半島の基部に位置し、北は瀬戸内海に面し、西側の南半分は豊後水道(宇和海)をはさんで九州に対しています。

また、リアス海岸を形成し、岬と入り江が交錯した風光明媚な景観をなしています。

温暖な気候で、天まで続くかと思うほどの段々畑で高品質のみかんが生産されています。このほか、伊予柑や不知火(デコポン)、愛媛県オリジナル品種の甘平や紅まどんな等、次々と新しい品種も登場しています。

市民や中学生 相互訪問 交流



昨年の中学生交流の様子(左)と、八幡浜市産業まつりでの本市紹介ブース(右)



二宮忠八翁が創建した飛行神社(八幡市)

図市民協働推進課 (☎983-5749)